



狭山の隠れたいところを、広報課の職員が取材しお伝えします。

1

毎年、夏が始まるのと時期を同じくして、私たちに美しい姿を見せてくれる花があります。それは、稲荷山特別緑地保全地区に咲くヤマユリ(写真1)。上品で優雅な花弁と香りから「ユリの女王」と呼ばれています。他の地域でもあまり例を見ない約1,000株の自生ヤマユリが、毎年きれいに咲くのはどのような理由があるのでしょうか。手入れを行っているボランティア団体「稲荷山・山ゆりの会」の代表、福田さん(写真2)にお話を伺いました。

「これだけの規模で花が咲くのは、環境面が適していることと丁寧に手入れをしていること、この

2点が大きな理由です」と教えてくれました。毎年、肥料を与えなくても自生で花が大きく育つのは、土壌に含まれているヤマユリに適した共生菌が、栄養豊富な腐葉土を醸成しているからだそうです。しかし、自然に任せたままの状態では、ツルや雑草が伸び放題になってしまうため、そこにはボランティアの皆さんによる作業が欠かせません。「10年くらい前までは、この里山もろくに手入れがされておらず荒れた状態になっていました。近所に住んでいる人間として見過ごすことができず、手入れをする仲間を募ったところ、一人また一人と手を上げてくれました」と活動を始めた頃を振り返る福田さん。現在、15名の会員で真冬と夏を除いて、除草や支柱の設置などを行っています。

「花を見に遠くから訪れる方も増えて、皆さんが喜んでくださる姿を見ると、活動してきて良かったと感じます。ただ、会員も70歳を超えた人たちがばかり。作業が年々体力的に大変になっているので、一緒に活動してくれる仲間を随時募集しています」とのことです。美しい里山を保全していく活動に興味のある方は、福田さんまでご一報ください。



2

問合せ 稲荷山・山ゆりの会福田さんへ ☎080-1186-8355

まちの…これから

市の動向を、タイムリーに掲載します

ちふれASエルフェン埼玉が昨シーズンの結果と新シーズンの体制を報告

7月8日(火)、ちふれASエルフェン埼玉の鈴木康之社長と植村祥子選手が市長を表敬訪問し、昨シーズンの結果と新シーズンのチーム体制などについて報告しました。



昨シーズンは、WEリーグで過去最高の6位という成績を収めたちふれASエルフェン埼玉。9月から始まる新シーズンに向けて、植村選手は「昨シーズンの結果に満足せず、1つでも上の順位を目指していきたいです。サポーターの皆さんの声援が、選手にとって一番の力になるので、新シーズンもぜひ多くの方にスタジアムへ足を運んでいただきたいと思います」と語りました。

問合せ スポーツ振興課 ☎2946-8738

㈱シンワと防災に関する協定を締結

7月7日(月)、㈱シンワと「地域防災力向上のための防災訓練等への協力に関する協定」を締結しました。



これにより、防災意識の啓発を目的とした防災訓練や講座を実施する協力体制を構築していきます。

問合せ 危機管理課 ☎2968-6527

狭山セコムラガッツが昨シーズンの結果を報告

7月17日(木)、㈱セコムの吉田保幸社長や狭山セコムラガッツの飯田光紀選手などが市長を表敬訪問し、昨シーズンの結果について報告しました。



昨年、狭山セコムラガッツは社会人ラグビーの最高峰であるジャパンラグビーリーグワンに新規参入し、2位という成績を収めました。飯田選手は「目標としていたDIVISION2への昇格は叶いませんでしたが、来シーズンは良い報告ができるようにチーム一丸となって頑張ります」と意気込みを語りました。

問合せ スポーツ振興課 ☎2946-8738